

# 身近な足です

## 自転車

## 見直して

五月中旬となり、さわやかな風を体にかけて自転車で走るのに絶好のシーズンです。今年三月、市は国土交通省から自転車利用促進スーパーモデル地区に指定されました。これからの道路整備について、担当する道路建設課で計画などをお聞きし、人に優しい道路交通について考えてみました（担当は市民編集委員・杉山、伊丹）。

問い合わせは道路建設課 890 6802へ。

### スーパーモデル地区に 本市が指定されました

自転車利用促進地区のスーパーモデル地区として、三月十一日、国土交通省から本市が指定を受けました。対象は中心市街地とその周辺四一・二平方の商業地域です。モデル地区には身近な道路の市民ニーズに配慮、先進的な取り組みを進めている市区町村が選ばれます。

自転車は手軽に利用できて環境にも優しいため、日常の交通手段として重要です。その利用を促進させ、ますます普及させるには自転車道の整備が不可欠。スーパーモデル地区では、おおむね平成十九年度までに整備事業を完了させることになってい

ます。

本市は全国県庁所在地の中で自動車保有率がトップです。日ごろから、自動車がなくてはならない暮らしを送っているのが実情ではないでしょうか。こうした車に依存した生活が、中心市街地などでの朝夕の渋滞、交通事故の増加、公共交通の衰退

環境問題をもたらす原因の一つになっていきます。

その解決策として、自転車利用の促進に大きな期待が寄せられているのです。これまでも本市では、段差の解消や駅周辺の駐輪場整備などを進めてきました。スーパーモデル地区に指定されたことよって、国からの特別な財政支援が見込まれ、自転車利用を増やす条件がこれからますます整えられていくでしょう。

### 人を中心とした

### 道路整備を長期計画で

自転車は移動手段としての自由度が高く、経済的であることから、子どもからお年寄りまで広く利用されるとともに、クリ

ーンで交通混雑の緩和にも寄与することから、都市交通の一つとして見直されています。安全で快適な道路づくりと



自動車に依存した生活をしていませんか

もに、「車中心」から「人中心」へと交通体系を変えていくことが大切です。そのために、さまざまな道路整備が必要になります。しかし、広い市街地の中の道路すべてを一度に工事するこ

とは不可能。長期的な計画のもとに、自転車利用を促進させ、環境の維持・保全を図りながら健康増進にも役立てる、人に優しい環境都市づくりを市でも目指していくとのことでした。